

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



# 人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部  
事業だより第54号  
令和4年1月21日

どこかに春が・・・

## 冬来たりなば春遠からじ



20日(木)は「大寒」です。「寒の内」のど真ん中。一年で一番寒いとされる時季。昨日(18日)見た雲仙は雪を被っていました。

でも2週間後の2月3日(木)は季節を分ける「節分」です。2月4日(金)は「立春」で「もう春ですよ」ということです。昔は2月を「如月(きさらぎ)」と呼びました。語源は、寒いので「衣更着」。暖かい陽気が増すので「気更来」と言われています。「きさらぎ」には、草や木が冬の眠りから覚め、命を再生させるという意味の「木更月」という言葉もあるそうです。言葉には、先祖の様々な思いが込められているのです。

「冬来たりなば春遠からじ」です。「どこかに春が…」と思うと「寒の内」とはいえ、なんだかウキウキしてきませんか。

さて、前回号より、玉名中学校区の活動の様子を2回に分けて紹介しています。

**第54号では玉名中学校区その②(滑石小、玉名中)の活動の様子を紹介します。**

### 玉名中学校



毎月1回、「とわの木」の方に読み聞かせをしていただいています。社会状況や生徒に伝えたいことなど、いろいろ検討して選ばれた本を読んで下さっています。生徒の心を育てる大切な時間になっています。



「玉中至心プロジェクト」の活動の一つとして、学校周辺の清掃活動を行いました。落ち葉集めが中心の清掃でしたが、30袋以上の落ち葉が集まりました。地域の一員としてこれからも環境美化に努めていきます。



校則改定に向けて生徒、地域の方、保護者、先生で熟議を行いました。それぞれの立場からの考えをたくさん聞くことができました。いただいた意見を参考に、生徒会を中心に校則改定を進めていきます。

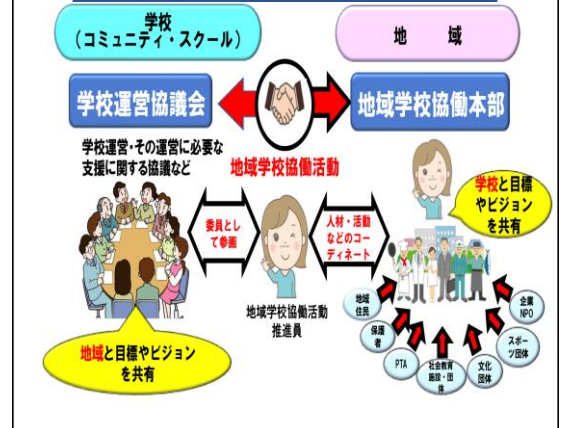


高校入試・就職試験に向けて面接指導をしていただき、緊張感のある雰囲気の中、たくさんの指導・助言をいただきました。本番でも練習の成果をきっと発揮してくれるはずですよ。



校区内にある神社に絵馬を奉納しました。今年の干支である虎を、「今年こそみんなが安心して健康に暮らせますように」という願いを込めて描きました。参拝に来られた方にも元気が届けられたらいいです。

### コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



裏面あり

## 滑石小学校

### 【学校運営協議会と地域学校協働活動】

コロナ禍のため対面での開催ができていなかった学校運営協議会を、12月に実施しました。地域学校協働活動推進員さんを含めて、今後の地域と学校の活性化について熟議をしました。地域学校協働活動推進員さんが中心となって老人クラブやあすなる会の活動を調整して小学校における活動を活性化してきたことを確認するとともに、来夏の「滑石ふれあいデー」等で工夫できそうなことのアイディアを共通理解することができました。

今後、滑石校区の地域人材や素材を学校に取り入れた学習を更に工夫するとともに、小学生が地域に出かけて地域活性化につながる活動をより多く取り入れていきます。



【4月の交通教室】

地域の交通指導員の方にも来ていただき、3年生以上には自転車の乗り方を、1、2年生には歩道の歩き方と横断歩道の渡り方を教えていただきました。

滑石校区のことも交えながら、気をつけることを分かりやすく教えていただきました。



【読み聞かせ】

滑石に以前からある「あすなる会」が中心となって保護者に呼びかけ、第2、第4水曜日を中心に、月に2回程度の読み聞かせをさせていただきます。学年に合わせて内容を工夫して下さるので、子供たちはいつも楽しみにしています。



【昔遊びクラブ(クラブ活動)】

老人クラブの皆さんに、2ヶ月に1回程度、昔ながらの遊びをたくさん教わっています。自転車のリムを使った輪ころがしや竹で手作りして楽しむ水鉄砲、羽子板、けん玉など、毎回たくさんの工夫や技を教わりながら楽しんでいます。



【毎朝の交通安全指導】

地域の安全ボランティアの方や保護者の方、民生委員さん等のご協力で週に一度、朝から交通指導をしています。

下校時の安全パトロールにもご協力いただいています。



【6月のいも苗植え】

老人クラブの皆様の多大なご協力をいただき、毎年1、2年生の生活科の学習で実施しています。お年寄りから教わることに、たくさんのことを学びながら、楽しく活動しています。毎年たくさんのいもを収穫し、みんなの笑顔でいっぱいになります。



【11月のいも掘り】

### ＝編集後記＝

- ◇ 今回をもちまして、この「事業だより」による各校区の実践紹介を終了します。ご多用の中、情報を提供していただき、誠に有り難うございました。感謝申し上げます。紙面の都合上、各校区のすべての活動を掲載することはできませんでしたが、幾らかでも関係する方々の取り組みの参考になり、且つ市民の皆様にも本事業を知っていただけたら幸いと思い発行してきました。
- ◇ 新型コロナウイルスの感染が止まりません。そして今まさに第6波が押し寄せています。コロナ禍のため活動が制限され、歯痒い思いをされていることは想像に難くありません。その厳しい状況の中、安全面に留意しながら創意工夫を凝らし活動されている皆様に心より敬意を表します。
- ◇ 今年度の初回号に「本事業を知っていただく“！そして、力を貸していただく“！」「年間計画が必要だ！そして、見通しを持って事業を推進しよう！」と書いています。今年度もあと2ヶ月ほど。来年度へ更なる充実につなげるべく、本部事務局としましても今年度の総括に入ります。各校区におかれましても「社会に開かれた教育課程」が具現化され「学校を核とした地域づくり」「地域とともにある学校づくり」が尚一層進展することを願っております。